

岩手県における春季のイカ類稚仔の分布

井ノ口 伸 幸 (岩手県水産試験場)

北 川 大 二 (岩手県水産試験場)

窪 寺 恒 己 (オレゴン州立大学)

要 旨

目的 三陸沖における夏季のイカ類稚仔の表層分布については幾つかの報告がなされているが、春季の鉛直的な分布についてはまったく知られていない。1982年4月の調査によってイカ類稚仔の鉛直分布に関する若干の知見が得られたのでここに報告する。

方法 1982年4月14~15日に岸手県の尾埼(39°15'N)と鮎ヶ埼(39°32'N)の緯度線上に10海里間隔で9採集点を設定し、MTDネット(目合0.33mm)を用いて、0~600m深を100m間隔で7層を微速で15分間、同時多層曳網した。また、各採集点及び尾埼沖5,15海里と鮎ヶ埼沖15海里点ではDBTによる水温観測を行った(図1)。

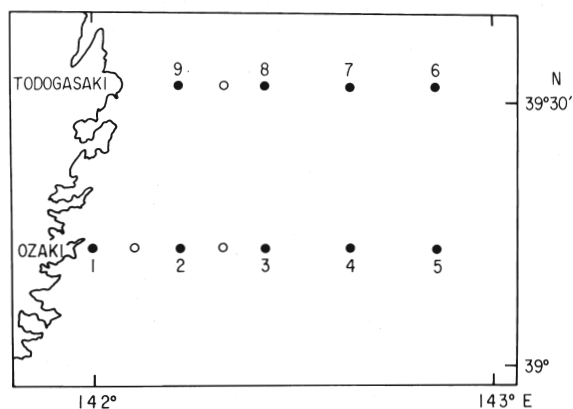


図1 調査点(1982年4月14~15日)

○: DDT観測点

結 果

(1) イカ類稚仔は6採集点で計22個体得られた。出現種及び採集個体数はツメイカ科の不明種2個体、テカギイカ科のテカギイカ *Gonatus onyx* 7個体、ドスイカ *Berrteuthis magister* 11個体、不明種1個体、サメハダホウズキイカ科のクジャクイカ *Taonius pavo* 1個体であり、亜寒帯性種のテカギイカ、ドスイカによって全体の82%が占められた(表1)。

(2) 調査海域の水温は0.8~6.3°Cで距岸10海里以東で親潮水が分布した。親潮水域の水深50~300m層には中冷水の分布がみられた。イカ類稚仔は中冷水及びそれ以深の水温1.0~3.7°Cに出現した(図2)。

(3) テカギイカ稚仔は100m, 200m及び400m層に出現し、特に100m層で多かった。一方、ドスイカ稚仔は100m, 200m, 400m, 500m及び600m層で採集され、そのうち200m層が多く、テカギイカに比べ深層まで分布する傾向がみられた。

(4) ドスイカ稚仔は水深が増すにつれて体サイズが小型化する傾向(100m層2.2~3.6mm, 200m層2.6~2.9mm, 400m層1.8mm, 600m層2.2~2.5mm)がみられ、成長に伴う分

表1 出現種と個体数

Family	Specis	Number of Specimen	Mantle Length (mm)
Onychoteuthidae ツメイカ科	Onychoteuthidae sp.	2	3.3, 3.5
Gonatidae テカギイカ科	<i>Gonatus onyx</i> Young テカギイカ	7	2.7-4.2, 28.0
	<i>Berryteuthis magister</i> (Berry) ドスイカ	11	1.8-3.6
	Gonatidae sp.	1	2.8
Cranchiidae サメハダハウズキイカ科	<i>Taonius pavo</i> (Lesueur) クジャクイカ	1	6.0

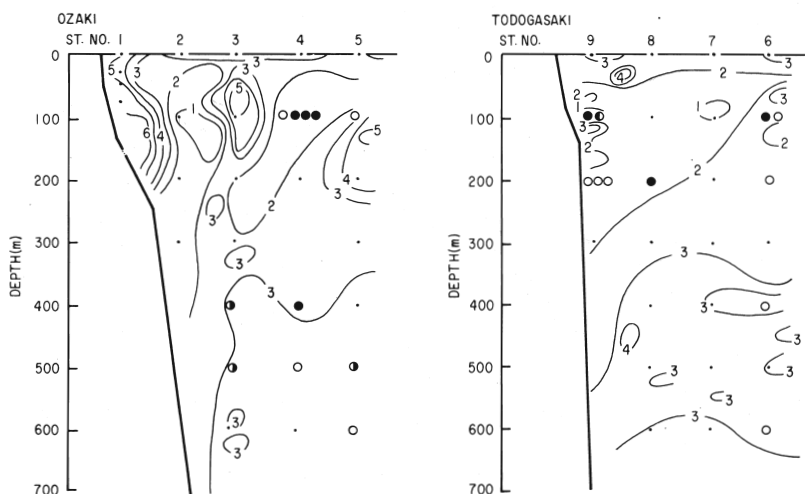


図2 水温の鉛直断面分布(°C)とイカ類稚仔分布

- *Gonatus onyx* (テカギイカ)
- *Berryteuthis magister* (ドスイカ)
- *Taonius pavo* (クジャクイカ)
- unidentified

布水深の上昇が推定された。テカギイカ稚仔では体サイズと分布水深の関係は明瞭ではなかった(図3)。

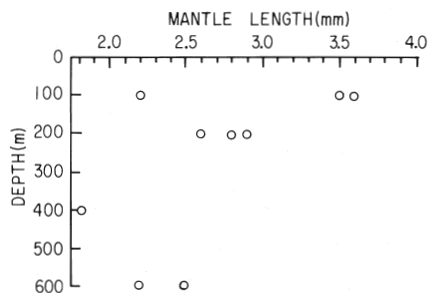


図3 ドスイカ稚仔の外套長と採集水深の関係

参考分献

- Okutani, T. (1968). Studie on early life history of Decapodan Mollusca-Ⅲ. Systematics and distribution of larvae of decapod cephalopods collected from the sea surface on the Pacific coast of Japan. Bull. Tokai Reg. Fish. Res. Lab., (55):9-57, text-figs. 1-32, pls.1-5.
- Kubodera, T. and Okutani, T. (1981). The Systematics and identification of cephalopods from the northern North Pacific. Res. Inst. N. pac. Fish., Hokkaido Univ., Spe. vol., 131-159.

質 疑

苧部 (新潟県水試) : 調査時期として4月を選ばれた理由は何か。

井ノ口 : イカ類を目的としたものではなく, ほかの調査の中で春の時期にイカ類の稚仔が多く採集されたので, 一応, それらを調べて発表したものです。